

正 誤 表

ちくま新書 1073『精選 漢詩集』（下定雅弘著）に間違いがありましたので、お詫びして訂正致します。

※「-」は、後ろからの行数。上下は、上段・下段を示す。

頁	行	誤	正
65	-3	清冽極な水	清冽な水
67	3	(^{なんえ} 南苑にて ^{びじん} 美人に ^あ 逢う)	(^{なんえん} 南苑にて ^{びじん} 美人に ^あ 逢う)
80	10	上平七麩	上平七虞
124	8	上平七麩	上平七虞
132	4	…劉因爲鶴嘆二篇寄 ^{マア} 豫 ^{マア} 以二絶句答之	…劉因爲鶴嘆二篇寄 ^{マア} 予 ^{マア} 以二絶句答之
136	5	*韻字は下平六麻「耶・花・斜・家」。	*韻字は上平九佳「涯」、下平六麻「耶・花・斜・家」の通押。
140	-6	(項羽が愛馬を駱と呼んだのが最も早いかな?)	(項羽が愛馬を驪と呼んだのが最も早いかな?)
178	-5	「烹葵(葵を煮る)」	「烹葵(葵を烹る)」
180	6	^{ようまんしゅう} 楊万州	^{ようばんしゅう} 楊万州
196	11	入声屑「説」	入声九屑「説」
204	-2	「松江」は鱸魚で有名(一八五頁)	蘇州の「松江」は鱸魚で有名(一八一頁)
285	-2	韻字は上平一一真「眞・人・馴・臣・塵・因」。	韻字は上平一一真「眞・人・馴・臣・塵・因・身」。
322	8	上平七麩	上平七虞
332	5	「蹇淹留して成す無し」	「蹇淹留して成す無し」
333	-5	「九辯」	「九辯」
334	6	韻字は上平一二元「喧・言」	韻字は上平一三元「喧・言」
348	4	立於庭上頭爲鶴 居在爐邊手不龜	立於庭上頭爲鶴 居在爐邊手不龜
351	下10	(本書一七頁を参照)	(本書一九頁を参照)
374	下6	有雙鶴留在洛中忽見劉郎中戊申六月嘉祥日……	有雙鶴留在洛中忽見劉郎中……
374	下-3	和賈舍人大明宮	奉和賈至舍人早朝大明宮
375	上5	市川寛斎	市河寛斎
375	上-7	金笠 41,42	金笠 41,112
375	下-10	白居易…109,110,117,118… 136,139,140,140,144,… 154,155,157,158	白居易…109,110,116,117,118… 136,139,140,144… 154,155,156,157,158
376	上8	五言短詩 17,18,19,20,21	五言短詩 17,18,19,20,21,25,26
376	上10	五言律詩 6,10,31…67,75,82…	五言律詩 10,31…67,71,73,75,82…
376	上12	五言排律 40,49,56,107	五言排律 40,49,56,58,107
376	上13	五言絶句 25,28,36…	五言絶句 28,36…
376	上-8	五言古詩 4,11,29,37,48,50,58,72…	五言古詩 4,11,29,37,48,50,72…
376	上-5	七言律詩 3,6,7,32,55,60,63,71,73,87…	七言律詩 3,6,7,13,32,55,60,63,87…
376	上-2	七言絶句 12,13,35,38,39,41,42…	七言絶句 12,35,38,39,41,42…
377	上8	上平六魚 28	上平六魚 29
377	上9	上平七虞 28	上平七虞 29
377	上11	上平八齊 29	上平八齊 28